



ペットで豚を飼う場合の注意事項

定期報告書を提出してください



飼い始める際とその後は年1回、定期報告書を提出してください。

飼い主さんの氏名、住所、飼養場所、飼養頭数を記入し、毎年2～4月に提出してください。

豚熱ワクチン接種が必要です



豚熱の発生を防ぐため、愛知県内で飼養されている全ての豚に豚熱ワクチンの接種が必要です。

合計4回接種します。（1回目は生後約1～2か月、2回目はその半年後、その後はおよそ1年後）

お散歩は控えてください



豚熱ワクチンを接種していても感染を100%防ぐことはできません。愛知県内でも岡崎や豊田などを中心に野生イノシシでの感染が確認されていますので、屋外に出すことは控え、屋内で飼うようにしてください。

肉製品を含むご飯は与えないでください



加熱が不十分な肉の摂取により豚熱に感染するリスクがありますので、肉製品を含むご飯は与えないでください。

野生イノシシ生息地域へのお出かけは控えてください



野生イノシシ生息地域へのお出かけは、ウイルスを自宅へ持ち込む危険があるため、可能な限り控えてください。やむを得ず出かける場合は、帰宅後に鞋底と手指の消毒をお願いします。

健康相談はかかりつけ医へ



家畜保健衛生所では治療等ができませんので、豚の健康に関する相談は、豚を診てくれる獣医さんにご相談ください。

ワクチン非接種地域への移動はできません



お引越しなどで県外に移動される場合、ワクチン接種豚を非接種地域に連れていくことはできません。最新の非接種地域は家畜保健衛生所までお問い合わせください。

亡くなった場合、死亡獣畜取扱場の許可を得た施設でなければ火葬や埋葬はできません。



お問合せ先

愛知県西部家畜保健衛生所

電話 0569-72-0344

尾張支所

電話 0568-81-1874

豚熱ってどんな病気？



豚熱ウイルスが原因

💡ウイルスはどこにいる？

海外：ヨーロッパ、アジア、アフリカ、南米の一部の国

国内：本州、四国に生息する野生イノシシ（2023.6現在）



発熱を始め症状は様々だが、死亡することも

💡どんな症状？

発熱、食欲不振、元気消失、便秘、下痢、結膜炎、歩行困難、けいれん、皮下出血、死亡など

豚熱ウイルスを含む物との接触により感染

💡具体的に何が感染リスクになる？

感染動物の唾液や糞尿、感染により死亡したイノシシの死体など

↓

陽性イノシシ生息地域周辺の道路を通行する車両やハイキングをした人の靴、イノシシの死体をついばんだ野鳥などにより感染が広がる可能性あり！

★野生イノシシ生息地域へのお出かけは控えてください。

★豚の散歩は控え、屋内で飼育してください。